

エアコンの節電効果が期待できます。

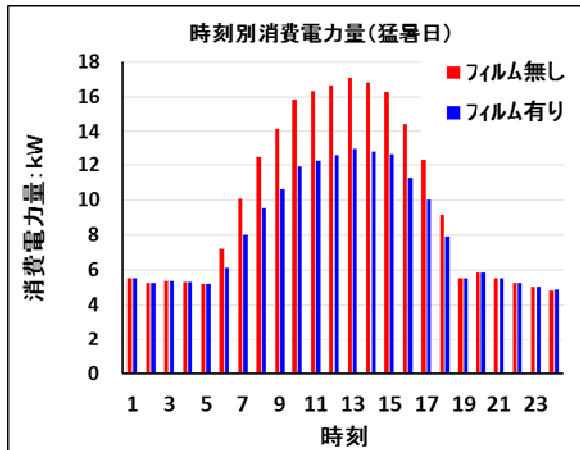
開放的な窓で困ること

開放的で眺望を楽しめ、室内を快適にする窓ガラス。その窓ガラスからは日射熱も差し込んでしまうので、空調設備には困りもの。それは、猛暑な夏の日に、冷やさなければいけない部屋の暑さが、時刻と共に大きく変化してしまうからです。

部屋を一定の温度に保とうとすれば、最大負荷となる真夏の昼間に合わせて大型空調機を導入しなければなりません。すると普段は省エネ効率が悪い。

省エネ効率を考え平均的な負荷に合わせた中型の空調機を導入すると、真夏の猛暑日は空調の効が悪く、部屋が暑くて仕方が無い。

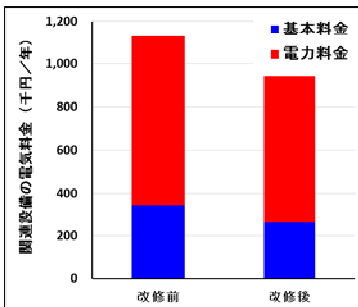
このジレンマを改善する一番の方法は、部屋の壁や窓ガラスを遮熱構造にすること。特に窓の遮熱化は、空調設備のダウンサイジングや節電と省エネ化に、大きく貢献します。 ※透明な複層ガラスは遮熱効果はありません



窓を通過する熱量のフィルムの有無による差
(琵琶湖中央病院A棟・B棟4階の窓の場合)

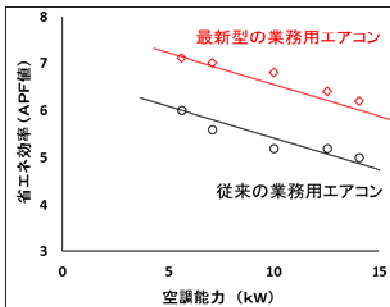
【高い節電効果】

iQUEの高い遮熱効果で、空調の消費電力だけでなく、**デマンド低減にも効果的。**ダブルの節電が可能です。



【空調負荷の低減】

iQUEの高い遮熱効果で、空調機をダウンサイジング。**空調機自体の省エネ効率が向上します。**



【窓際も涼しく】

iQUEの高い遮熱効果で、**窓際の温度が大きく下がり、室内の温度ムラが解消されみんなが快適になります。**



iQUEの節電効果が確認されました！



【効果検証に御協力頂いたお客様】
住所:愛知県名古屋市中区(白当り良軒)
勤務人数:17名 勤務時間:平日8:00-20:00
総床面積:約130㎡ 空調設定:2013年型+25℃設定
総窓面積:30㎡のうち73FG4L施工:20㎡(約75%)

2014年7月に2階部分をフィルム施工し2階の電気料金を実測した結果、**電力量単価が16%高騰しましたが、支払電気料金は10%削減**できました。

大きな節電効果。その秘密は、**電力量料金の削減効果に加え、夏場のデマンド抑制効果による、基本料金の削減効果も期待**できます。

これが夏の賢い省エネ対策です！

